

本邦の新記録——基隆港の影法師と奥間

●檢閱嚴重

府の命令に依り將軍府は阿

革命首領

十九日横濱市加賀町署にト

新書搜索

運城郭を風雨道程に陥る

二方より琴瑟山を取巻き山頂に向
連なり其にて目下琴瑟山上は尺餘

に認むるを得べく有志者

火災報

原因尚不明

燒
跡
若草町にて

一番造

家の手のみを以て揉み消すが、

第一條件にて火元をな

印度洋を通過し紅海より地中海に出る

巴里包圍の戰跡を視る

元氣旺盛する所ヲルソウを取り、
杯と牧園き居れり其の元氣の

行は非空に阿耨の道に於

経路を横断せんとして車體に微傷を負ひたるが最寄

火合うせつの口な

備の兵營は日本の兵營中で第一
云はれる程に完備して居る、
營よりも二倍立高く堅固な

◆零下三十何度◆

壁に塗込んだ暖爐を用ひて

店に一日の食費十四錢七

唐る冬の軍營生活には御國の
云ひ乍ら又同情す可き點が多
く、

るかを知つて居ない軍人は

れども軍人も亦人である以上

十二分の給與を受けては居

る兵士等と較ぶれば大變な差
ではないか羅南に居る

將卒が常に不足を感じて居る

<p>謝近火御見舞 大和町丁目四十三番地 山縣五十雄</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町四丁目三番地 榮治三郎</p>	<p>謝近火御見舞 柳井町一丁目二三番地 池田角平</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町三丁目 檜山洋服店</p>	<p>謝近火御見舞 京城若菜町四丁目 小田質店</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町三丁目 大和館</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町三丁目 高谷質店</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 山城園茶館</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町三丁目 三宅洋服店</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町三丁目 大矢洋服店</p>	<p>謝近火御見舞 京城本町三丁目 平原喜造</p>	<p>謝近火御見舞 京坂若菜町四丁目 高橋利福松</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 新居酒店</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 木原忠八</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町四丁目 鈴木慶藏</p>
<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 前川兼吉</p>	<p>謝近火御見舞 本町四丁目二五番 大北清三郎</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 村田商店</p>	<p>謝近火御見舞 京坂若菜町 質商江川彌三郎</p>	<p>謝近火御見舞 京坂若菜町四丁目 三浦キク</p>	<p>謝近火御見舞 京坂若菜町 森分龜吉</p>	<p>謝近火御見舞 京坂若菜町 田淵左姫</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 為春堂醫院</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 古家多之助</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 小林定治</p>	<p>謝近火御見舞 京坂本町三丁目 田村義次郎</p>	 <p>消火器 各種 目次 番四二六 電話 店</p>			

兵衛の厚意

A black and white illustration of a man in a long, patterned robe standing on a balcony or walkway, looking out over a city with many windows. The man is wearing a hat and has a beard. The city below is densely packed with buildings.

に於ては、金子は其まゝ進せるが、短刀に丸水の鑑札は、私の手許へてされ、其刀を以て此處を破ることも出来るし、若し成らうことなら、外から御身が破つて下されば、首は克く江戸表へ立歸り小栗製作には腹させるに依り、悪人加増の者はチナビで、忠臣の世に出づることひなし、何と申澤氏 助けて下さるには参らねか」

「お聞きなさい」

△臺灣征伐の時の記念品 明治七年に牡丹社討伐の際西郷従道公から發した告と良民たるを證する爲に與た鑑札とがこの切同地の表裏に與入院隨意診察候九時迄

皮膚病 皮膚病 梅毒 皮膚病

京明 藤佐 一話電

三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡

三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡

三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡

三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡
 三月三日 星期一 新嘉坡

ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等、各用途に従つて其種類を異にす。雖も、而かも皆等しく、遊離の苛性加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼ならざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髪を洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、實に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹼

は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性状を具備す。

- 一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺激を感じすべき虞あるものを用ひず。
- 一、溫雅の芳香を有す。
- 一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶

The illustration shows several Mitsuwa Soap products. At the top center is a large, dark, rounded rectangular bar of soap with 'Mitsuwa Soap' embossed on it. Below it is a smaller, similar bar with 'MADE BY Marumiya Shoten TOKYO' embossed. To the left is a box with a circular logo and the text 'Mitsuwa Soap' and '石鹼' (Seika). In the foreground, there are two more boxes. One is a smaller box with a circular logo and 'Mitsuwa Soap' and '石鹼' (Seika). The other is a larger box with a circular logo and 'Mitsuwa Soap' and '石鹼' (Seika). The boxes are stacked and arranged to show different packaging options.

擔任技師 工部士 藤野治郎
工部士 越智主一郎

[illegible]

ウエルダン大接戦

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

ウエルダン大接戦

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

大隈首相伺候

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

改訂工事進捗

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

平壤米穀政策

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

朝鮮米穀政策

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

米の群山(山)生

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

海州の経済界

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

米の群山(山)生

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

朝鮮第一の米(四)生

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

朝鮮米穀政策

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

平壤米穀政策

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

改訂工事進捗

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

大隈首相伺候

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

北京より

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

山西軍の横行

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

近衛軍編制内容

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

帝政延期の實行

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

江西北伐の南軍

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

米の群山(山)生

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

朝鮮第一の米(四)生

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

謝類焼御見舞

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

短歌三百講

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

文章世界

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

英語世界

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

全鮮素人淨瑠璃大會

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

入場無料

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

梅鶯會

●大隈首相伺候
●改訂工事進捗
●平壤米穀政策
●朝鮮米穀政策
●米の群山(山)生
●朝鮮第一の米(四)生

御得意様

て試み申さう。さらば許

[illegible]

仁用寺町 小倉 病院
 有業流男女外父自募金希望者
 東京駒込區外父自募金希望者
 京成古市町一四(電車通) 電八八八
 日振の場所詳細を譲あれ
 (姓名在社) 555
 女子屋に預けなし 生後一ヶ月
 女中屋に預けなし 出する御方へ
 南米合町二二番 通和三部
 番外(一階) 電話二五五(電話)
 店員採用 年齢廿五歳以上 出
 なる 婦人入を要す 志望者は 自今
 一時二時迄来 談あれ
 東金町二丁目 シンガーミン 555
 新用櫻の葉新荷著
 京成岡崎町鳥屋本店
 電話二二二〇番
 朝鮮語科 新學期開始
 三月六日 各月給補 537
 英語科 三月六日 各月給補 537
 南大門通漢城銀行向ひ 京成青年集
 東大玩具 職人形外一切の玩具
 二月十五日 大安賣 373
 地方は御注文次第送附 (寄附金)
 〇京成本町二丁目 佐藤玩具店
 朝鮮餅松の賣餅松の漢江美芝
 名菓十種用最上品並美 職菓子色
 陸軍山崎電機電話三〇一石見堂
 恩給年金類短期長短期交換 539
 不及便法 其他擔保信用上仕儀
 〇京成南大門 山口屋
 恩給年金 諸職地方代理店増設 希
 者照會 通知 恩給年金所有者に 限
 者照會 通知 恩給年金所有者に 限

寫
寫其出張機
寫其銅版、亞路山版

大木伯（佐藤）尾崎士和（佐藤）三宅博士
浦田博士（佐藤）今入會す

蘇峰學人解題 市川鶴鳴原著 三六版總クローズ 上製サツケ附 金五拾錢 郵税六錢

帝範臣軌國字解

朝









朝鮮彙報 大正五年三月一日 (定價二十五錢 郵費二錢五錢)
 主 要 目 次
 各道第一部長に對する寺內總督訓示
 朝鮮の給水問題 忠城郡使局の内部
 英國通信事業の概況(上) 患北伊院以建設良組合檢査揭及忠南大田久納氏の分與せる業績
 朝鮮寺刹の研究 扶餘の勝地
 面經營に關する調査 篤行者事蹟 矢野遞信事務官
 農作物優良品種普及並栽培成績 テウセンカマツ播種 高橋總督府囑託
 小學校及普通學校の教育上特に注意すべし 本日覆有無計達成績 土木工事概況 一月中の鐵道運輸
 さ事項 農業學校の經營法 警察機關と面積並人口の歩合 歲末に於ける豫防警察の效果 京城の外廓 金剛山に産するニホヒズボコに關する研究 豫報 外宣教師の見たる朝鮮 羅馬尼の家産制度 地方道作 雜報 質疑應答 叙任及辭職計

朝鮮語の研究 新庄通譯官
 法令及通牒 民刑事判決例
 投稿を歡迎す 原稿締切期限毎月十日
 販賣店 東京神田駿松堂 朝鮮各地の書店に販賣す
 廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

[illegible]

三月十五日	午正出帆	三月十五日	午正出帆
三月十六日	午正出帆	三月十六日	午正出帆
三月十七日	午正出帆	三月十七日	午正出帆
三月十八日	午正出帆	三月十八日	午正出帆
三月十九日	午正出帆	三月十九日	午正出帆
三月二十日	午正出帆	三月二十日	午正出帆
三月二十一日	午正出帆	三月二十一日	午正出帆
三月二十二日	午正出帆	三月二十二日	午正出帆
三月二十三日	午正出帆	三月二十三日	午正出帆
三月二十四日	午正出帆	三月二十四日	午正出帆
三月二十五日	午正出帆	三月二十五日	午正出帆
三月二十六日	午正出帆	三月二十六日	午正出帆
三月二十七日	午正出帆	三月二十七日	午正出帆
三月二十八日	午正出帆	三月二十八日	午正出帆
三月二十九日	午正出帆	三月二十九日	午正出帆
三月三十日	午正出帆	三月三十日	午正出帆

油醬上取

附錄
第一

(上)

一
大英帝國

▲植民思想の鼓吹

▲植民地無用論 今日植民地帝國として世界に代表せらるゝものは謂ふ迄も大く英國である、而かもその英國に於てすら嘗ては植民地無用論の熾んに喧へられた時代がある
 ジョンラッセル卿は一八五〇年二月英國下院に於て滔々各植民地獨立の必要を演説し、又グラドストーン内閣の樞臣大臣たりしスタンレー卿の如きも「大英帝國の利益は、植民地を擴張することにはなく、植民地を維持することにある」といふに至り、
 北米合衆國の獨立以來は植民地を厄介無用視し、小英主義を唱道したのであるが、時勢は永く停滯せず歐洲に於ける政治上經濟上の大勢が推移せるに伴つて消極的國家思想は次第に極端を失ひ、政治擴張者の主義思想は漸く楊化を來し、彼のチャールズ、デルク氏が「一八六八年に『大英帝國』の者に於て時代の錨鐘を撞きし以來、或はシラー教授の『英國の未來は、ブラッドフォード氏の『敗戦こそ

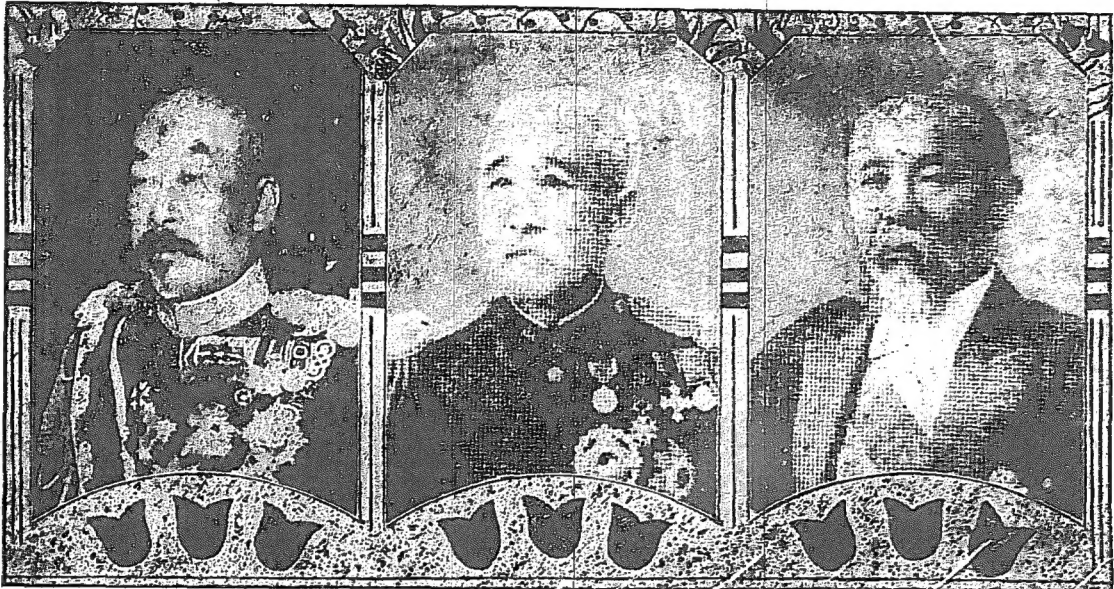
「思ふに英領北亞米利加及び太平洋列強に久しからずして獨立國たるに至るであらう、一八六〇年英國は自由主義擴張の時代であつて政治は人道に離る可らずとし、偶々北米十三州の獨立に依て各殖民地も亦自然獨立すべきものと認め、寧ろ之を助長するの傾向であつた、而して宏大なる領土を賦ひ之が分離を望むといふ有様であつた、彼のリチャード・コブデン氏が叛度の叛亂を起して表白したる意見書は最も善く此の觀念を示すものである、其一節に曰く「吾人は亞細亞に於ける一億の民を統治する事の不可能な意思を有するや久し、斯かる企圖を達成せんとするも上帝並に天理は之を妨げずんばあらず、縱令大なる費用と危険を以て實行し得べしとも抑も吾人に何の利益する所ぞ」斯くの如くコブデン氏等の自由主義擴張者は「今日既に殖民地に於ける商賈大人物の指導の下に英國の植民思想は」

「英國人」等の名著現れ、一方にはテニスン、キップリング等の詩人の植民文學を被歎するあり、是等の感化を受けて英國人の植民思想は著しく勃興を來したのみならず、他國の植民的發展は既に算術級數を示して英人の距離を刺激し、遂に英人の植民思想に一大變革を來したのである、一八八七年倫敦に開かれたる第一回植民會議に於てソールズベリー卿が母國及び植民地を打て一朝となし其通の利益を計るの必要を演説して以來、茲に初めて英國人は「英國の偉大なる將來は植民地のの上に横はる」所以を自覺し、之れと同時に大英國時代は現出された

▲大英國時代 而して有名なるジョセフ・チムバレン氏が帝國主義的開發同盟論を熱心鼓吹するあり、セシル・ロズ氏が南阿に偉大なる植民地的活動を實行するあり、是等の大人物の指導の下に英國の植民思想

十年間の朝鮮統治者

向つて右より故伊藤公
故曾禰子、寺内總督



る。是れは、南に厚くして北に薄きものありしなればなり。思ふに朝鮮に於ては、南に厚くして北に薄きの感無きに非ざるか。南地は胡馬越皇の國原に因らずとするも、果し開け

南進か北進か

2

人往々南進は成功して北進は收れ易きことを聞けり。然れども是れ偶々しきことを聞けり。一時此風を聞かぬか、僥倖は北方の人の如しと雖も其事確明ならず、其領土も亦漠たり。箕子卒木扶餘の族等南下の人にして永く國を治めしと雖も、是れ偶々しきものなり。而かも此等箕子國の諸族、百濟等は、半島の南端まで其の勢力を伸長する能はざりき。又肅慎朝の海は北方の民なりしが、却て南方の國は亡ばされたり、之に反し新羅は南人にして、尙日本人の血を混する王朝なるが、能く半島の中央まで其領土を擴張せしものなり。三國中最も長く社稷を保てり、朝鮮の如きは大陸に接し、前は海に連ぎらるゝ地勢の所、撫言すれば勢力ある主權者は多く北方より出づべき地勢の所にして、尙且つ前述の如き状態なり。支那に就き之を見んか、元朝、滿朝の北方の民たるの故を以て、人能く北方の強を説く。然れども北人獨り成功して、南人悉く敗れたるにはあらずき。北狄武を好み又中國と密接の關係を有し、中國に君臨することを得てし雖も、南を企てし者安んじ、又關係薄く、之を企てし者あらず。故に成功不成功の問題は生ぜざるなり。中國の王朝北狄を征服し能はざりしと共に、南狄をも亦征服し能はざりき。中國の北狄に侵まざるんとは、南狄に侵まざるんより尤もなりしと雖も、北狄は常に名實のみにて是れ兎も角も中國の版圖に歸し、南蠻の過ま者は全く別國たるの狀を呈せり。

祝三干號記念

祝三 千號 記念

京城南山町三丁目

土木建築業
請負業
清水滿之助

京城出張所

電話長三四九番

不二興業株式會社

京城黃金

町
一
丁

100

群山府本町通

群

安

店

七川府海岸通

仁

支川

店

全羅北道益山

五

里

場

平安北道龍川

西

鮮農

恒

100

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

4

藤金中右川小八高
井澤上寺木田
寬仁佐千
太兵衛清和源義之
郎衛藏作郎吾助丸

祝 三 千 號 記 念

一鶴發賣元

京城永樂町二丁目

本莊

酒 店

電話六五四番
振替京城六二〇番

富の壽發賣元

京城永樂町二丁目

富安

城支店

電話一〇三九番
振替京城三三九番

清酒全露長春
釀造發賣元

京城南大門通二丁目

大塚

城支店

電話四〇一番
振替京城五七〇番

菊正宗白鶴
二羽鶴澤龜
大日本特約店

京城本町三丁目

田中

支 店

電話七六四番

櫻正宗
魂發賣元

京城明治町二丁目

山邑

城支店

電話八四九番
振替京城七五番

菊正宗白鶴白鹿
金露折鶴正宗
麥酒特約店

京城本町二丁目

前田

酒 店

電話一三七番
振替京城四三三番

金露銀鑒富久娘
宗比羽鶴植正宗
正宗花嫁移入發賣
サッポロビール特約店

京城黃金町二丁目

三巴

商 會

電話三八〇番
振替京城三八〇番

百合發賣元

京城南大門通三丁目

百合正宗

城支店

電話一五一五番

清力正宗發賣元

京城本町二丁目

清力

城支店

電話四六七九番
振替京城一五五六

有蒸發賣元

京城黃金町二丁目

首藤

支 店

電話一二七番
振替京城三二七番

京城酒商組合 (いろは順)

黒闇の裡に暴威を振ひし當年の虐政

朝鮮にもむかしは

矢張り皇室を中心となつて上下相和し皇統は嫡々相傳へたものである、處が李朝の末期に至つて今から六十八年前の憲宗皇帝の崩御に際し茲に非常に困つたことが來たといふのは此の王には嫡子が無かつた事である、其處で仕方が無いから王統を嗣ぐ人として遠い王族の内から詮索して當時江華島に居つた哲宗皇帝を

したものである、それで嗣には君によつて社會の秩序は攪亂された上から更に加へて外夷が一旦こし上にて人民は殆んど一日とし著きある生活を送る事が能はず、自般農工商の職業は亦より擧つて眞面目に研究する者さへも無鮮金道が大不安に襲はれたものゝ、當時

朝不謀夕何暇言他

國民の皇に對する、斯くして哲宗皇帝は十五年間、任位の後、崩御したのであるが次に國民が第二の疑懼心を抱くやうになつたのは此の皇帝にも世間々の皇子が無かつた事である、それで今度又仕方が無いから今の孝太王陛下を他家から迎へて其の後嗣と定めなければ其國民の頭に於て餘程皇室中心主義の考へが薄らいて來たのであつた、然るに又此の時一府國民の忠君思想を挫いた事は

庭山の奥に逃げ出す人はかりで

二王共に逆統を圖

帝の時制なるにも拘らず、一段先王を
飛び越えて先王王製宮の後を嗣いだ
のであつた。然るに其の後の李太王
はまた前の三代を飛び越えて純祖の
後を嗣いだのであつた。慈慶事て國
民は益々皇室に對する疑惧心を増し
て居る處へ何分李太王は常降十一歳
の幼年を以て王位に入承したもので
あるから王位があらうと王が居るまゝに潰れて盡くして着都
目には全く疑は破擾したつたので
た、現に今頃までも還つて居る
居根の家などは當時は決して兄
も能きなかつたものであるが此
の響きで街の間に輝が出来るが
の曲びくゝぬつたり溜い荒廢街
つた次第であつた。從つて又も
から還つて居つた

立すべき托孤大臣がある

屋で誰れも幼主を捕縛すべし、忠臣の
 無い、其處で李太王の殿父に當る大
 院君は自ら進んで攝政の役につき、政
 治を行ふ事となつた、けれ共從來朝
 鮮の政治には攝政などいへば、専制
 も無い事であるから朝廷の公卿正家
 の百官は何れも暗黒した云ひ出した
 けれ共誰れも我一人表立つてこれに
 反對する者もなかつた、然るに
 今一つ困つた事は當時大院君

大院君は英邁豪放

金を費した事であつた、それから、景福宮の半島全區を起したので、勢の費用は半島全區の膏血を斃せられぬ事と云ふ當時「即納」と云ふ一種の強制納税を迫つたものであつた。

てあつて人民が塗炭の苦み
と笑はうと殆んどその全財
産を有つた者には其の半
五萬圓を出せと迫

し之に照じなければ遠慮

君の名に依つてこれを贖罪に處
したものである、しかしのみな
時は十萬の寶座を有つた人と
した人との眼で三十萬の寶座
出された際には自分の金庫を
出した上は猶ほ五千萬圓の金
れ李太王殿下は世界に類例も
公使館の密達まで送はされた
朝鮮の國運は盡きたであつた、凡そ國の亂は
てざるに至る迄には色々な悪い因もあるに決まつて居るが最近
の五十年間程韓国外の事は自

人々の心には宿を留めず

といふのは誰れも彼れも思ふに、
山に移り家もなきものは打撲
て矮少な草葺家屋に建て居ても
であるのみならず牛生の生活も
ねて粗衣粗食に甘んじなければならぬといふで、我に朝は人なる者は
生氣なき民と化したつた次第で
それで我人を權るゝ事は成

朝日新聞記者氏 原田金之助
京橋區三軒町三番地
三軒町三番地
三軒町三番地

祝三千號

より、またしく總て何事によ

此の風習は今日に
ある。それによつて、
その趣味は、
紙面の趣味如何にあるか。
其の趣味は、
紙面の趣味如何にあるか。

てか、はなはたなるものけ
れば如何様にもなるもの

の他當時貨幣制度を何度も變へたものでお経には金があつた。それによつて富たつたのである。無^れの朝鮮の山に悉く荒蕪に歸し、又此の山に彼の病院を建て、此の山に彼の建築の趣味を發揮して猶ほ且つ何れ人民に對する材料を悉く地方の人民に賣つた。此の山に彼の建築の趣味を發揮して猶ほ且つ何れ人民に對する材料を悉く地方の人民に賣つた。

は悉く賦役により行つたも

それ、人々は森林を行はば、
 困らねばならぬから各題共
 附近の森林を争ふ

伐り盡くしたものである。斯くし
 今から四十七年以前、大蔵卿は政權
 の李太王に譲られたのであるが
 今の時は、殆ど王の左右を輔佐する
 者が、今度、明暦三年未だ曾

るべき是、其の意を以て、
 るべきに其資料は茲に謂ふ、
 記事に就つての多かるべし、世人に親
 學的趣味なくんば健全なる殖産興業
 得て望むべからず、而かも一留讀者に
 没交渉なる此等の記事を收録するこ
 とはその編纂上、一方ならざる苦心を
 要すべく、京城日報は此點に於ても平
 君多大の犠牲を供せられつゝあるは

、恣虐事で百妖横行、大院

りとも一層世の中は亂れて來た、何れは、大元君は暴政は暴政だつた、其其儘に大元君自身の一貫した義主張があつたが、今度では殆んど完き且つ門地教育を熱心なき官吏に所感述べて諷諭さすれんこと

分

品名種目
 砂糖 麦 粉
 佐 糖 粉
 サク ラ ビール
 サク ラ タ イ ヤ
 永 製 菓 子

電話四九

龍山元町三丁目
中島出張
電話三五

朝鮮之部	東京之部
朝鮮總督府官報	朝鮮報
	中外商報

大	大	大	大	每	益	京	朝
阪	阪	阪	阪	日	日	山	鮮
新	事	日	之	中	報	日	氣
報	聞	聞	文	軍	報	報	
世	東	論	時	京	報	知	
界	京	錄	民	事	潮	知	
新	夕	新	新	新	新	新	
開	開	開	開	開	開	開	
關	山	福	九	滿	京	東	
門	國	州	洲	州	地	方	
	際	日	日	日	海	海	

祝三千號記念

時計及附屬品

營業種目

- 貴婦人用裝身具
- 寫眞器及材料
- 各種蓄音器及音譜
- 樂器オルカン各種

電話二六二番・三
辰替京成二三

作者氏反

營業
科目

和洋諸紙
活版石版印
各種帳簿製
印刷用各
版

電話百十番
振替京成三〇番

主筆可也

京城新町遊園

祝三子號紀念

京城府

松村三省

京城旭町一丁目二百二番地

京城日丸水産株式會社

電話一〇八番
電器 ケヒ

日清生命株式會社

朝鮮出張所

所長 横田瀧三郎

京城黃金町二丁目
電話一四九六番

京城本町一丁目

山岸天佑堂藥房

電話二〇一四番

山岸天佑堂機械部

電話一〇六番

京城南大門通一丁目

中山洋紙店

電話一三四一番

京城南大門通三丁目
印章及彫刻
萬祥堂

電話一九九五番

京城本町二丁目

大正足袋支店

電話一八六五番

京城黃金町二丁目
淺野セメント株式出張所

電話六六三番

京城黃金町三丁目
淺野スレート株式出張所

電話六六三番

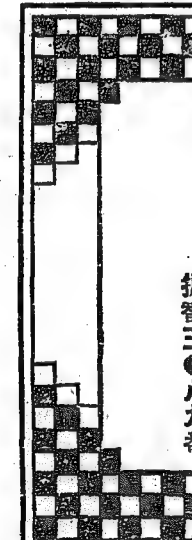
太平生命株式會社

京城支部

京城黃金町二丁目
電話一四〇二番

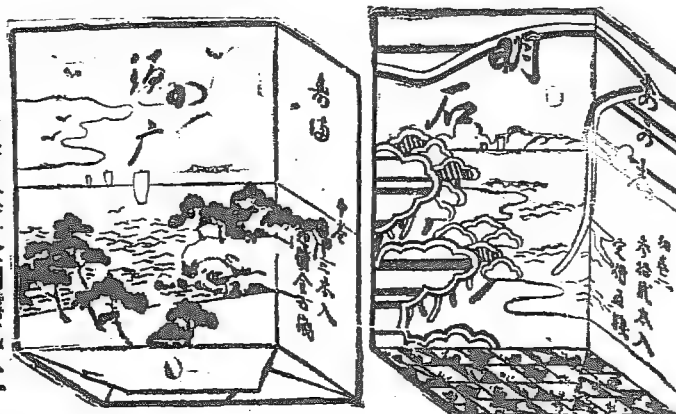
「彼の事つて、何かい」

たつたけれど、其者に付て居る恩給なのである。



振替三〇八九番

100



祝三千年紀念

本府府集町
沖永商店
和洋食品特約店
電話六一番

本府大和町
岡村商店
石粉名會社代理
電話一六四番

本府府集町
太田孫三郎商店
精米業
電話五三番

本府府集町
木村健商店
精米業
電話二〇番

本府府集町
本浦ホテル
客室完備
電話三一七番

本府府集町
福田精米所
精製白米卸小賣
電話一九番

本府府集町二丁目
鎌田産業會社本浦支店
電話二二〇番

本府府集町二丁目
朝鮮實業會社本浦支店
電話一三六番

本府府集町二丁目
木山印刷所
諸印刷並に
電話三〇九番

本府府集町二丁目
石矢商店
製州牛紙製紙小賣
電話一六四番

本府府集町一丁目
木下政太郎商店
全木下政太郎商店
電話二二六番

本府府集町二丁目
渡邊藤太郎商店
會渡邊藤太郎商店
電話二二二番

本府府集町二丁目
谷村道助商店
全谷村道助商店
電話三八番

本府府集町
福田又文商店
貿易商
電話四九番

本府府集町
本下藥店
內外藥品
電話一二番

本府府集町
守田千助商店
內外藥品
電話一六番

本府府集町
石矢春吉
市山崎太郎
電話三三六番

本府府集町
岡田松三郎
本村好松
電話三〇九番

本府府集町二丁目
祝三千年紀念
慢性胃腸病 婦人科
リウマチス 神經痛

本府府集町二丁目
釋玉寺温泉開業
本寺は清酒園地なる別荘
風の建築に於て中流以上
の家族的清遊に適す

本府府集町二丁目
甘泉亭
營業時間にして御食事は
御隨意に於て外一般入
浴者を歓迎す

本府府集町二丁目
京元温泉
温泉御案内所
電話二〇二番

本府府集町二丁目
松竹園
雪峰館
電話二〇二番

本府府集町二丁目
合資丸吉廻漕店
電話二〇二番

本府府集町二丁目
運送部
電話五三五番

本府府集町二丁目
通關部
電話一五二番

本府府集町二丁目
荷捌所
電話二〇四番

本府府集町二丁目
今や七運送店
電話三三三番

本府府集町二丁目
今都築組運送店
電話三三三番

本府府集町二丁目
小野組運送店
電話二四三番

本府府集町二丁目
大岡徳太郎商店
電話一五四番

本府府集町二丁目
慶田組輸出部
仁川本町一丁目(電話四二番)

本府府集町二丁目
慶田組荷捌部
仁川海岸通税關前(電話七二番)

本府府集町二丁目
慶田組出張所
仁川稅關構内(電話二七八番)

本府府集町二丁目
德本商店
仁川本町三丁目
電話四二七番

本府府集町二丁目
加來商店
仁川海岸町一丁目
電話四七番

仁川本町一丁目
村谷吉藏本店
電話四五六番

仁川本町一丁目
村谷勘一商店
電話四二〇番

仁川本町一丁目
美濃谷榮次郎商店
電話一八八番

仁川本町一丁目
白神洋行
電話一六六番

仁川本町一丁目
仁川新町一丁目
電話一八八番

仁川本町一丁目
仁川本町四丁目
電話一八八番

仁川本町一丁目
仁川本町四丁目
電話一八八番

仁川本町一丁目
仁川本町四丁目
電話一八八番

仁川本町一丁目
仁川本町四丁目
電話一八八番

附錄三

十年間に於ける本社主催大事業の重要なもの 第一回内地觀光團（南大門驛出發送別式場）

デルンブルグ博士の殖民地に關する意見は彼が自ら稱して『余は此地上の新地方新大陸の大部分に就て幾分かの経験を有して居る、白人が世界に活動する上に於て先づ具備せねばならぬ要件は何であるか』と云

主催大事業の重なる
觀光團（南大門驛出發送別式場）

A black and white photograph of a large group of people, likely a choir or a group of children, standing in a line outdoors. They are wearing light-colored clothing, possibly uniforms. The background shows a building with a gabled roof and some trees. The image is grainy and has a high-contrast, almost stencil-like appearance.

獨逸人が自國として養ふる其の砂
民地で、他の一は外國の所領の中て
獨逸の商業的利益の存する地方、即
ち獨逸人が君主權を享受しつゝあ
る心す之を得ねばならぬ所の地方
を、換言すれば獨逸の商業的勢力範圍と
ある、此等外國の領土は氣候の點に
於ても將又人種の上からも勿論種々
種多で決して一様には言へぬ、然
し其處で成功するに必要條件は
くは阿れの地方も同一である、從て
獨逸領殖民地に對して適用の出來
事は海外の各地一般に對しても亦水
抵適用が出来るのである。

○母國殖民地の關係

私は先づ殖民地に就て語りたい、
其理由は殖民地には獨逸の青年が事
關保護せねばなるゝところの理想貨
物貨が他の海外各地よりも多いから
である、殖民地には獨逸青年の遊學
視察の望を滿たすべきものもあるべ
し土地と人間とは共に獨逸の青年

云、この出来は、言ふに及ばず、
之と同じ理由で、獨逸が新たに植民地を
獲得の事業に著手したのは獨逸帝國
が統一してからである。併し帝國統制
の一の事業完成して後も尙ほ久しい間
獨逸國民は多年來の内閣の根柢と
冷淡無幹事を、それから理解力の最
も無経験との間に植民地の領有云々
上事を喜ぶに至らなかつたのである
所が十九世紀中に於て政治上の不
と經濟上の壓迫の爲に數百萬の獨逸
人が海外へ移住するやうになつた。

○丙辰新年寄懷晚吟社中諸
賢
臘梅君友最敬。獨社茶經又道行。仁
壽山莊當日會。記迎碩月酌仙醺。惟
因病一朝拋酒盞。却看年虎起風塵。驚
人詩句若君少。奇想當從天外來。芥
學文隨意際。口不離林却密吟。憶
起去年明月夜。芳樽把酒論心。多
謝此情。最少年。草鞋同訪古臺前。獨
言。言。言。遠矣。夫子。不。畏。天。畏。後。天。

我が獨逸の幾多の青年達や其兄弟等に指導者選の時には大に私を信用されて始終注意警告を乞ひ來り又は後援を求め來る人も少くない、且人達の私に對する要求並に信任の厚儀から察するとも、將來秋に當る獨逸の青年が遠く旅を離れたる區域に於て有爲の公民たるべき其本分を完全に仕終せんが爲には其青年が如何なる進徳と用意を要するやといふ問題について説明を望むものが多し、即ち茲に此の問題を擧げた所以である。

殖民地の權力

由る殖民地の權力は本國の權力に勝れて獨立し得るものではない、力の強い活動能力の有る而して世界各國の尊敬を得て居つて且つ海上活動に堪能な母國民が殖民地の模範となつて之を支持せなければ殖民地は決して進歩を續けなし得るものではない、現に和蘭、西班牙、葡萄牙など一時は強大なる殖民地的強國であつたが此等の國の權勢が歐洲列國中第二流の地位に墜ちるや否や、何れも其の殖民地を失ふに至つた、總合殖民地の權力を失はぬまでも其重要なる部分は大抵之を失ふに至つた、此事實實は殖民地の權力が本國の權力に勝る

然れども今や我日本帝國は島嶼帝國
 ではない、東洋否世界に於ける大陸
 帝國である。押しも押されもない
 世界の一強國である。別荘を有する
 豪富者の資格の一せらるゝ如く
 殖民地を有する事は強國たる資格の
 最も有力なるものである。然日本
 は殖民地を有するが故に大陸帝國で
 はない、殖民地が發展する即ち帝國の
 國威は伸揚する。然らば即ち帝國の
 大陸發展の急先鋒として殖民地を自
 己の天地と定め据振經營勉勵努力す
 る者は眞に貴重なる實と謂はなけれ
 ばならぬ。吾人は今日帝國人の殖民
 地に對する概念の甚だ疎慢である事
 を必ずしも咎めない。蓋し時勢の進
 退と共に殖民地將來の政治的經濟的
 要求は、必ずや帝國人をして眞に殖
 民地經營の意義を體會するの機會を
 得しむるを信ずる故である。前置き
 は兎も角として、茲に少しく新進氣
 鋭の帝國人にして殖民地を以て自己
 の活動の天地とし、背棄の志を棄

故に今は敵國であるが、獨逸の前殖
民大臣ベルンハルト、デ
ンブルヒ博士が會て「殖民地
及び海外に於ける事業成功の要件」
と題して有爲の獨逸青年に向つて爲
したる有名な演説申より適切なる
部分を抜いて紹介しようと思ふ。不
健全なる思想に提はれ、優柔懦弱、
氣障々形式にばかり促みたる我母
國青年、並に奮闘力を缺いて居る殖
民地青年に對する刺激劑となるを得
ば、則ち他山の石以て環を磨く次第
である。

事に就て確かに幾分かの經驗を有す
る人間である。自ら斷言して差支あ
るまい。殖民地及び海外に於ける事
業成功の要件といふ演題について講
演するだけ相當の理由否々權利があ
る」と自任して居る丈に、南北亞
米利加は勿論、亞弗加利全體に互る
列頭の殖民地より西伯利亞、日本、
支那、朝鮮等に至るまで沿ねく其の
實情を踏査して委曲を悉して居る、
彼は實に殖民世界の泰斗として其の
意見は常に世の視線を惹くものであ
る。以下は彼れの言葉である。

温なる密接の關係を持て居るし、又其地へ這入つても獨逸青年は本國に於けると同様な國民的團體の中に居ることが出来るといふ事實があるからである、特に言ひたい事は、獨逸青年の活動にとりて祖氏地の方が他の海外各地よりも活動方面が遙かに廣い事である、元來殖民地と云ふものは其制度爲何れも本國の制度組織を小さくして之を其地に持つて行た様なものである、即ち本國の制度を小仕掛に縮寫した様なものであるから、本國で有用と認めらるゝ所の職業は、従つて小規模ながら充分發達して其必要を認めらるゝものである、即ち行政官も裁判官も學者も教師も校員も商人も手工業者も將又技師も農業者も何れも共に必要であつて、我々獨逸人の之に従事するのを待つて居る、然るに獨逸領ならざる海外各地即ち他國の領土では獨逸人の従事すべき重要な職業は商業運輸など所無警察のみである、職業は更に少しなり行政官の職に至ては僅かに領事

知聞
幾處風流杖策隨。先生境遇一奇奇。
前此出遊如夢寐。當山近水自成文。
曾上樓台夕陽隱。遙思逸興自詩篇。
流併樂池池中物。每有金鑪即置君。
萍水相逢氣格高。禪房寶月砥礪毫。
嗟老骨真無用。畢竟精神絕古陶。
本來四座是同胞。千里寄情如漆膠。
化炒薑黃盡否。一枝筆合司神交。
惜我龍成未點鰐。登天氣勢轉分明。
逢忽別緣何薄。不消門前謝履聲。
歡喜多年侃語論。酒詩且有別於增。
君若吉言不可忘。應爲感德醉吟翁。
君若裏底深滋味。應爲感德醉吟翁。
也結文兒受業緣。情恰如此世間稀。
人間最喜有同攻。務給足錢文字中。
世恩光隨處遍。何妨一出關西東。
聖明天子時時幸。名儒名臣且賜召。
竟有爲者如此彼。彼人也余亦爾輩。
白雲深鎖生忌此。此事放教圍箇鉢。
謝家僕僮舊厚。林清酒足太醺醺。
師生元兄且壯心。時時自似醉吟翁。
去年今夜唱離歌。感慨胸中不耐磨。
別飲飽健飯新詩第一決江橋。

京城本町三丁目

合資會社 福喜洋行本店



福喜洋行本店
 大阪市東區瓦町一丁目
 電話 本局五四〇〇
 本局七四〇〇番

朝鮮分工場
 京城府閔崎町
 電話 一二五二番

高野川捺染工場
 京都府愛宕郡田中村字
 萬壽寺上三三六

京城葬儀社

電話一五六七番

(一〇)略電
九五八號京警振

番二九四 番三一 吳 話電

農作上の緊急警告(上)

早春に際し農家の注意を促す

本田幸介

農政一進轉機
農政の進轉は、農家の注意を促す。早春に際し、農家の注意を促す。農政の進轉は、農家の注意を促す。早春に際し、農家の注意を促す。農政の進轉は、農家の注意を促す。早春に際し、農家の注意を促す。

赤米の排除

赤米の排除は、農家の注意を促す。赤米の排除は、農家の注意を促す。赤米の排除は、農家の注意を促す。赤米の排除は、農家の注意を促す。赤米の排除は、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。

野木技師曰く

野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。野木技師曰く、農家の注意を促す。

向坂農學士曰く

向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。向坂農學士曰く、農家の注意を促す。



本溪湖炭 順炭 煙台炭

各種炭は今回新設の龍山貯炭場に十分の貯炭致置候間直接當所又は特約店に御用命被仰付度尙鐵道沿線は一車廿五噸以上の御注文被下候節は一日以内に到着可仕且又御使用向き御申聞け候へば石炭の性質を案じ尤も適當なる炭御供給可申上候

最も多くの固定炭素を含み「カーデ」
「フ」炭に類似せる石炭なり
適當に酸素を供給せば八千「カロリー」
の強熱を發する石炭なり
適度の粘結性を有し多くの骸炭分を含める良質の石炭なり

其層百三十尺以上百九十尺に亘り全層を通じて同様の性質を有せる石炭なり
其色漆黒にして光輝強く炭質硬堅なる石炭なり
揮發分に富み尤も燃付易き有煙石炭なり

灰分極めて少量にして「クリンカー」を生ずるとなく燃焼十分なる石炭也
硫黄分を含有するも少なきが故に汽罐の鏽蝕に損傷を及ぼすも少なき石炭なり

半無煙の石炭なり
固定炭素量尤も多く百分中七七・四平均を有する石炭なり

本溪湖炭は「カーデ」炭と同じく船舶燃料殊に遠洋航路船に適す
本溪湖炭は鍛冶用に尤も適當し且本炭製出の骸炭は其質堅く發熱力又強く鑄鐵鍛煉用に適當せり
本溪湖炭は尤も火持ち永く一度完全に燃付くときは本炭等しき丈に保火し得る良炭なり

撫順炭は濃縮燃料用として日本産一等炭に匹敵し特に鐵道機關車及船舶燃料に適す
撫順炭は特徴として揮發分多きを以て瓦斯製造用として最優等の石炭なり
撫順炭は一般工業用に尤も適當せり
撫順炭は著火力に富み家事用として尤も便利徳用なり

煙臺炭は家事用に使用するも煤煙の患なく常に室内の清潔を保つ
煙臺炭は煉炭製造に適す
煙臺炭は一般工業用に又適し殊に石灰窯に之を用ゆるときは其品質を優良ならしむるの特長あり

煙臺炭は煉炭製造に適す
煙臺炭は一般工業用に又適し殊に石灰窯に之を用ゆるときは其品質を優良ならしむるの特長あり

南滿洲鐵道株式會社鑛業部販賣課出張所
京城御成町電話長一七七〇番電報略號(テコ)

貯炭場
電話二〇三番 同

祝三千號紀念

仁川新町三丁目 小倉病院 電話四〇三番
仁川新町三丁目 川畑病院 電話二六四番
仁川新町三丁目 高木病院 電話七二九番
仁川新町三丁目 松本病院 電話三四五番
仁川新町三丁目 淺井病院 電話四二二番
仁川新町三丁目 佐藤病院 電話四〇九番
仁川新町三丁目 菊池病院 電話九一〇番

汽船帆船新造並に修理 諸器具
機械土木建築用品 新作修理 汽
船引揚工事諸機械据付 設立請負
元山港春日町
澤井造船所
澤井鐵工所
所主 澤井倉次郎
電話一三二番

朝鮮元山港仲町三丁目
露西亞物產 西澤商店
電話四六四番

御旅館 朝鮮元山港
大東館
電話二五番

貿易直商 奉天小西關
松茂洋行
瀨尾榮太郎商店
電話日長三三三番
電話中一三三番
大連振替九七五番
電略ス又はセオ

海陸運送 船舶代理
倉庫棧橋 委託賣買
合名東和公司
營口海岸通り
青島北京町
大連敷島町

祝三三號紀念

仁川病院 電話一六番
內科主任 廣瀬六二
外科主任 鶴田秀雄
眼科主任 荒川正雄
耳鼻喉科主任 山田宗左
齒科主任 飯塚喜四郎
齒科主任 川崎藤太郎
齒科主任 眞崎季正
齒科主任 伊東種三
齒科主任 古屋ヤスノ

祝三三號紀念

仁川酒商組合 (いりは組)
本莊 電話一四九番
河野 電話一三八番
田中 電話一三三番
田中 電話一三三番
宅合名會社 電話一三三番
中野 電話一三三番
增本 電話一三三番

祝三三號紀念

仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目
仁川本町四丁目

祝三千號

漁業角輪組

江東道軒城郡靈津里 第一漁場
咸鏡南道利原郡船盆里 第二漁場
同北青郡新浦面興塔里 第四漁場
同定平郡歸林面東上里 第五漁場
同咸興郡退潮面東洞里 第六漁場
咸鏡北道城津 第七漁場
元山出張所
德田平一
奧田龜造